

陸上自衛隊 東部方面総監部



令和7年度自衛隊統合防災演習 (O7JXR) 【成果について】 Joint eXercise Rescue

JXR: 自衛隊が毎年行う統合(陸・海・空及び関係省庁等)防災図上演習

令和7年自衛隊統合防災演習(07JXR)の概要

赤字：強調

① JXRの概要

【目的】

首都直下地震発災時における災害対処能力の向上を図るとともに、関係自治体、防災関係機関、米軍及び豪軍との連携を維持・強化し、国民の安全と安心の確保に資する。

【参加機関等】

- ① 防衛省・自衛隊
統合幕僚監部、統合作戦司令部、情報本部、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊 等
- ② 防災関係機関
内閣官房、内閣府（防災、原子力防災）、警察庁、総務省、消防庁、外務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、気象庁、海上保安庁、環境省、原子力規制庁及び地方公共団体（東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県 等）
- ③ 指定公共機関
東京電力グループ、NTT東日本、イオン、防災科学研究所、JUIDA 等

② 主要演練項目

- 首都直下地震発災時における指揮幕僚活動
- 関係自治体、防災関係機関、海空自及び米軍等との連携

③ 主要成果

【成果】

- 自治体・指定公共機関と現地調整所の開設、LOの派遣、指揮所訓練参加を通じて相互の連携要領についてノウハウを蓄積
- NEXCO、DMAT、JUIDA等と連携し、実動訓練を通じて災害対処の実効性を向上
- 関係部外機関（109団体258名）を受け入れ、災害時における自衛隊の行動、演習統裁等について研修するとともに、防災に係る意見交換を実施して相互理解を促進

【総括】

自衛隊が実施する訓練に地方公共団体等の担当者が参加することにより、各種事態における連携要領の具体化及び対処要領を訓練することが可能であるため、今後の積極的な参加を要望

令和7年自衛隊統合防災演習(07JXR)の実施状況

自治体等と連携した指揮能力の向上及び活動基盤の拡充



【東京都現地調整所の指揮所活動】



【埼玉県庁職員との調整】



【CCTVカメラによる情報共有】

JXRの実施状況

関連部外機関と連携した実動訓練による災害対処の実行性向上



【緊急開口部の通過 (NEXCO中日本)】



【DMAT及び東京消防庁との連携】



【物資輸送ドローンの検証 (JUIDA)】

研修を通じた関係部外機関との協力態勢の確保



【指揮所研修】



【統裁研修】



【意見交換 (質疑応答)】

第17回 関東防災連絡会

防災拠点現地見学会 常磐道（上） 守谷SA

2026年2月26日

あなたに、ベスト・ウェイ。



SA・PAの防災拠点化について

第17回 関東防災連絡会
 防災拠点現地見学会 常磐道（上） 守谷SA
 2026年2月26日

SA・PAの防災拠点

防災拠点とは、必要な設備等を備え、各進出機関における救援、救護、災害復旧等の活動への効率的かつ効果的な支援を行うことを目的としてNEXCO東日本が防災拠点化を進める休憩施設のこと。

進出機関が
 災害情報を共有する場所

進出機関の前進基地

お客さまの一時避難場所

常磐自動車道（上り線） 守谷サービスエリア全景



守谷サービスエリアに関する補足

常磐自動車道（上り線）守谷サービスエリアは、「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に基づく各機関の参集・進出拠点としての利用、防災拠点自動車駐車場としての稼働等、防災拠点としての機能を発揮した進出機関の災害応急対策・被災地救援活動の拠点としての活用が想定される。

関東支社管内の高速道路休憩施設の防災拠点化

《防災機能強化エリア》

- ・関越自動車道 高坂SA④
- ・東北自動車道 蓮田SA④
- ・常磐自動車道 守谷SA④
- ・東関東自動車道 酒々井PA④



概要報告 防災拠点見学会 [常磐道(上) 守谷SA]

第17回 関東防災連絡会
 防災拠点現地見学会 常磐道(上) 守谷SA
 2026年2月26日

開催日時	①令和7年10月9日(木) 13:30~15:30 (Web説明会) ②令和7年10月16日(木) 10:00~11:30 (現場見学会)																								
場所	①Web形式 (Microsoft Teams) ②常磐自動車道(上り線) 守谷サービスエリア																								
概要	災害発生時に関係機関が進出拠点等として活用できる機能を備えた休憩施設について、関係機関が、当該防災拠点の機能や災害時の各機関の役割、進出目的、連携の方法等について理解を深めるために実施する説明会及び見学会																								
見学会実績	<p>場 所：常磐自動車道(上り線) 守谷サービスエリア 参加者：16機関(103名) 時 程：下表のとおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">時刻</th> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 45%;">場所・連絡事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30</td> <td>受付(開始)</td> <td>・受付(見学者証配付)</td> <td>受付集合</td> </tr> <tr> <td>10:00~</td> <td>開会式・全体説明</td> <td>・ご挨拶 ・見学の流れに係る説明</td> <td>集合場所で開催</td> </tr> <tr> <td>10:10~</td> <td rowspan="3">見学会</td> <td rowspan="3">・3班に分かれ、①・②・③各箇所を見学する(25分*3) A班：①⇒②⇒③の順 B班：②⇒③⇒①の順 C班：③⇒①⇒②の順</td> <td rowspan="3">下図「各見学場所」参照 ①：防災倉庫+ヘリポート+炊出入[°]-入 ②：商業施設+一時待避所 ③：緊急開口部+自家発電設備</td> </tr> <tr> <td>10:35~</td> </tr> <tr> <td>11:25~</td> </tr> <tr> <td>11:30</td> <td>解散・撤収</td> <td>・適宜解散(見学者証返却)</td> <td>班毎に解散</td> </tr> </tbody> </table>			時刻	項目	内容	場所・連絡事項	9:30	受付(開始)	・受付(見学者証配付)	受付集合	10:00~	開会式・全体説明	・ご挨拶 ・見学の流れに係る説明	集合場所で開催	10:10~	見学会	・3班に分かれ、①・②・③各箇所を見学する(25分*3) A班：①⇒②⇒③の順 B班：②⇒③⇒①の順 C班：③⇒①⇒②の順	下図「各見学場所」参照 ①：防災倉庫+ヘリポート+炊出入 [°] -入 ②：商業施設+一時待避所 ③：緊急開口部+自家発電設備	10:35~	11:25~	11:30	解散・撤収	・適宜解散(見学者証返却)	班毎に解散
時刻	項目	内容	場所・連絡事項																						
9:30	受付(開始)	・受付(見学者証配付)	受付集合																						
10:00~	開会式・全体説明	・ご挨拶 ・見学の流れに係る説明	集合場所で開催																						
10:10~	見学会	・3班に分かれ、①・②・③各箇所を見学する(25分*3) A班：①⇒②⇒③の順 B班：②⇒③⇒①の順 C班：③⇒①⇒②の順	下図「各見学場所」参照 ①：防災倉庫+ヘリポート+炊出入 [°] -入 ②：商業施設+一時待避所 ③：緊急開口部+自家発電設備																						
10:35~																									
11:25~																									
11:30	解散・撤収	・適宜解散(見学者証返却)	班毎に解散																						

実施 報告防災拠点見学会 [常磐道(上) 守谷SA]

第17回 関東防災連絡会
防災拠点現地見学会 常磐道(上) 守谷SA
2026年2月26日

4

開会式の様子



防災拠点の設備見学の様子①



防災拠点の設備見学の様子②



参加者からのご意見

- 現地で説明を受けることで、災害時の運用や使用方法についてイメージすることができた。
- 施設の細部配置や規模などを把握することができ、災害時の運用を想定できた。
- 『顔の見える』関係の構築につながった。
- 現行のマニュアルに記載のない施設・設備もあるため、それらについて記載していただきたい。

今後の対応

- 参加者からの意見を踏まえて、現行マニュアルの更新を予定。
- 来年度も他の防災拠点で同様の見学会を企画・開催し、関係機関の防災拠点に対する理解促進や『顔の見える』関係の構築を目指す。

令和7（2025）年度栃木県・益子町防災図上総合訓練について

1 訓練の目的

地震災害の発生を想定し、市町及び関係機関との連携及び情報収集・伝達等、災害対策本部及び事務局の災害対応能力の向上を図る。

2 実施日時

令和7（2025）年8月6日（水） 9:00～15:00

3 訓練種別・時間・実施場所

訓練種別	時間	実施場所
県本部事務局訓練	9:00～15:00	危機管理対策室
県本部会議訓練	14:00～15:00	危機管理本部室
益子町訓練	9:00～15:00	益子町役場

4 訓練形式

訓練種別	実施形式
県本部事務局訓練	状況付与型シミュレーション訓練
県本部会議訓練	シナリオ型訓練
益子町訓練	状況付与型シミュレーション訓練等

5 訓練参加機関（26団体、約170名）

栃木県、益子町、真岡市、茂木町、市貝町、芳賀町、野木町、下野市、栃木県警察本部、真岡警察署、芳賀地区広域行政事務組合消防本部、日本赤十字社栃木県支部、陸上自衛隊東部方面特科連隊第2大隊、自衛隊栃木地方協力本部、宇都宮地方气象台、宇都宮国道事務所、関東経済産業局、防災科学技術研究所、(一社)栃木県トラック協会、栃木県倉庫協会、東京電力パワーグリッド(株)、NTT東日本(株)、東京ガス(株)、東日本段ボール工業組合、(株)アクティオ、(株)レンタルのニッケン

6 訓練想定

- ・ 県の地震被害想定調査中で想定する県域周辺のプレート境界付近の地震とし、茨城県南西部を震源とする県内最大震度6強の地震を扱う。
※能登半島地震により甚大な被害が生じたことや首都直下地震・南海トラフ地震などの大規模地震発生切迫性も指摘されることも踏まえて地震への対応訓練を実施する。

7 訓練の特徴

- ・ 受援体制能力の向上に資する。
（総務省の応急対策職員派遣制度や緊急消防援助隊等）
 - ・ 災害時応援協定の実効性を高める。
（避難所の生活環境向上に資する物資提供者に訓練参加依頼）
 - ・ 孤立集落支援に係る活動能力に資する。
- ※上記3項目につき、発災48時間後の状況下で実施する。

令和6年度の訓練の様子



本部会議訓練



本部事務局訓練

令和7（2025）年度栃木県・益子町防災図上総合訓練について

【令和7年度訓練の様子】

県事務局訓練



県本部会議訓練



益子町事務局訓練



益子町本部会議訓練



知事・町長電話連絡訓練

